



GUNBOH

群 萌

第159号 2004年4月6日

発行所 全国化学労働組合総連合

東京都文京区本郷1-28-10

本郷TKビル4F

TEL 03 (3868) 9663

FAX 03 (3868) 9664

発行責任者 福永 幸治

編集責任者 辻 昭一郎

gs03@kagaku-s.jtuc-rengo.jp

2004春季討論集会開催

「化学総連の諸課題」認識と「春闘の取り組みの考え方」を確認

化学総連「春闘にあたっての取り組みの考え方」

雇用の確保を共通の最優先課題とし

主体的・自主的な優先項目を単組独自に取り組む



課題を述べる福永会長

1月16日（金）ホテルマリーナコート東京にて、「2004年春闘の取り組みの考え方」の確認や化学総連の課題の共有化を目的に、春季討論集会が開催されました。

集会の中では、福永会長より「化学総連を取り巻く諸課題」と題し、基調講演がありました。

まず、活動の基本認識として「化学産業を持続的・健全に発展させる」「安心して働ける産業基盤にする」「雇用の安定と労働諸条件の向上を目指す」との考えの下、引き続き現在抱える諸課題を紹介

され、その後「春闘の考え方」について話がありました。

1つ目の課題としては、産業業種活動が挙げられます。この活動は、ここ数年の化学総連の最重点課題と位置付け、化学産業の持続的発展が雇用の安定に繋がることを目的としています。

今後は、更なる充実を目指すべく、産業対策委員会の活動内容の見直しや業種別委員会の再編、JEC連合との連携等、必要性を理解しながら意識の向上を図りたいとの話がありました。

2つ目の課題として、財政の緊迫化が挙げられます。財政内容については、ここ数年かなりの見直しを行ってきていますが、予想以上の加盟組合員の減少により、現状のままだと特別会計を取り崩

す可能性が出てきています。そのため、更に何らかの対応を施す必要性がありますが、現在の活動を決して停滞させることの無いことを前提に進めなければならないとの話がありました。

3つ目の課題として、JEC連合との更なる連携強化の推進が挙げられます。この課題は昨年の定期大会の補強議題にもなっております。化学総連では今後、実績の評価と反省を踏まえながら、産別としての社会的責任を果たすこと。加盟組合組織全体で納得できる方法。を目指して議論を進めて行くとの話がありました。

4つ目の課題として、事務局支援が挙げられます。事務局体制は今年度より1名減の2名体制となりましたが、特に教育・研修・調査活動部分での支援を「総合企画委員会」全体で行っており感謝したい。今後は、活動の効率化、仕事の役割分担等、現在の抱えている課題をクリアーにして更なる活動の充実を図っていただきたいとの話がありました。

最後に「春闘方針」については今年度より「取り組みの考え方」としたい事を述べられました。

近年は、従来のような横並びの春闘方針を掲げることは、時代の環境変化により難しい、また必要性がうすれている事から、加盟各単組においては各々抱えている問題の抽出を行い独自に取り組むこととしていました。

今年度についても更にその色が強く出ていることから「方針」までの強い影響力を持たず、化学総連加盟単組として、基本的な考えを共有していれば良いとの認識に立ち「取り組みの考え方」としました。

そのような中での春闘における化学総連の役割としては、加盟組合の主体性・自主性を最重要視してそのフォローを行うこと。具体的には各種施



JEC連合 佐藤事務局長

策・制度に関わる情報提供や交渉時の情報交換基地としての役割等が挙げられる。今回の集会もそのような考えのうえ、人事・賃金制度の先進事例紹介を実施致します。との話がありました。

引き続き行われた、特別講演ではJEC連合の佐藤事務局長をお招きし「JEC連合の運動の考え方と活動内容について」ご講演がありました。お話の中で、JEC連合の役割機能や体制を説明され、化学総連と同じ財政の問題があることもお話を頂きました。

また、事例発表として積水化学労組の本間書記長から「成果型人事制度と労働組合の役割」と題して説明を頂きました。発表の中では成果型人事制度運用の最大のポイントである評価制度の運用を中心に、現在取り組んでいる評価制度審議会やアンケート実施結果の紹介等がありました。

今後も透明性・納得性の向上を目指した制度運用の徹底や改善にむけ、労働組合としても積極的に関与を行いたいとの話がありました。



事例報告をする本間書記長
(積水化学労組)

その後、各班に分かれた分科会形式の情報交換会では、事例発表と同様の課題で行いました。各単組の出席者とも、評価制度の運用に関しては同じような悩みや不安を抱えており、活発な意見交換を行いました。



活発な議論が交わされた分科会

化学総連「2004年春季生活闘争」に

あたっての取り組みの考え方

2004年春季生活闘争において、化学総連は「連合の春季生活闘争方針」を踏まえたうえで、総合的な労働条件の改善を目指した主体的な取り組みを行っていきます。

具体的には、取り巻く環境の変化や諸情勢を十分に勘案したうえで、雇用の確保を共通の最優先課題とします。また、成果重視を目的とする人事・賃金制度の改革が進む中で、従来の延長線上での取り組みが難しくなった状況も考慮し、各単組では企業の状況、取り組み経過も踏まえた主体的・自主的な優先項目を独自に設定し取り組んでいくこととします。

化学総連は、各単組の取り組み内容・状況のスピーディーな把握、タイムリーな情報交換を行って行く中で、各単組の要求設定、交渉のフォローに努めるとともに、化学総連全体としての取り組みの強化・充実、労働諸条件の水準向上を目指した産別としての役割を果たしていきます。

また、雇用創出、税制改革、社会保障基盤整備などの政策制度課題については、連合の取り組みを支援していく形でその実現に向けて努力していきます。加えて化学産業・業種に関わる産業業種課題については、JEC連合との連携も含めた自主的

な活動を通じ、安心できる雇用、職場環境づくりに努めていきます。

1. 取り組みの進め方

- ①政策委員会・幹事会 2003年12月16日～17日
(春季生活闘争の考え方の検討)
- ②幹事会 2004年1月16日
(春季生活闘争の考え方決定)
- ③春季討論集会 2004年1月16日
(春季生活闘争の考え方の組織確認)
- ④支部役員研修会 2004年1月23日～24日
(春季生活闘争の考え方の説明)
- ⑤幹事会 2004年2月24日
(取り組みの状況報告、情報交換)
- ⑥単組代表者会議 2004年3月9日
(取り組みの状況報告、情報交換)

2. 会議開催および情報交換

諸会議については、要求作成から妥結に至る過程において、タイムリーに開催します。また、パソコン通信の活用および構成組織間相互の情報交換を緊密に行います。



2003年 社会福祉カンパ実施報告

～皆様のご協力ありがとうございました～

2003年 年末社会福祉カンパにご協力いただきありがとうございました。本年は全国加盟単組153支部にて実施され、各地域の福祉施設・養護学校等へ約1,300万円の寄贈が行われました。

また、化学総連「災害福祉基金」には約200万円のご協力をいただきました。

今年度集まった化学総連災害福祉基金につきましては、化学総連災害義援金充当分として100万円、連合「愛のカンパ」へ90万円（災害復興、NGO、NPO活動支援等に使用）、滋賀県の「止揚学園」へ10万円の寄贈を行いました。

皆様の心温まるご協力に感謝申し上げます。

(参考：昨年度は化学総連災害義援金より宮城県沖地震、水俣の水害に対して寄贈しております。)

単 組 名	年末社会福祉カンパ			化学総連 災害福祉基金	カンパ総額
	カンパ額(円)	実施支部	寄贈施設団体		
住友化学労組	1,555,730	8	18	220,560	1,776,290
昭和電工ユニオン	1,050,593	15		174,150	1,224,743
三井化学労組	1,183,382	10	17	265,306	1,448,688
宇部興産労組	489,228	4	9	69,780	559,008
ダイセル化学労組	602,810	9	9	104,358	707,168
日本ゼオン労組	622,857	6	5	78,000	700,857
JSR労組	990,383	4	7	100,000	1,090,383
チッソ労組	300,186	6	5	121,888	422,074
東燃化学労組	11,915	1	1	10,000	21,915
丸善石油化学労組	60,000	2	2	16,087	76,087
大日本インキ労組	1,483,495	19	23	42,695	1,526,190
積水化学労組	1,030,100	18	18	98,860	1,128,960
鐘淵化学労組	345,000	6	7	70,967	415,967
信越化学労組	933,019	6	24	143,000	1,076,019
住友ベーク労組	226,034	7	4	171,756	397,790
三菱樹脂労組	273,915	5	7	31,828	305,743
三洋化成労組	430,000	6	5	100,000	530,000
日信化学労組	100,000	1	1	0	100,000
旭硝子労組	892,406	12		96,472	988,878
日本板硝子労組	505,286	8	8	62,722	568,008
合 計	13,086,339	153	170	1,978,429	15,064,768

止揚学園よりの御礼状

皆様のご協力により、毎年「化学総連 年末社会福祉カンパ」をお寄せ頂いた中から、「止揚学園」へ寄贈を行っています。

今回は、止揚学園からの御礼状が届きましたので、止揚学園の概要と併せて紹介致します。



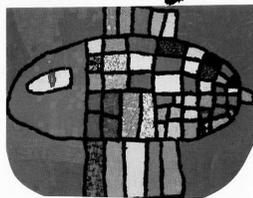
名 称：止揚学園（しょうがくえん）
所 在 地：滋賀県神崎郡能登川町佐野885
設 立：1962年現在の学園リーダーである福井達雨（ふくい たつ）氏を中心に知能に重い障害をもつ子供の施設として設立
活動内容：障害児差別に対する抵抗運動 教育権運動など

止揚とは？

「二つのものがぶつかり合って新しいものが生まれる」と言うことであり、職員と重い知恵遅れの子供達があつかつて、子供達のためにではなく“子供達と共に”新しい生き方を生み出す意味が込められています。

* 化学総連と止揚学園とのお付き合いは、1979年当時の化学総連の研修会にて、福井達雨氏による人権問題の講演を行っていただいたのを切っ掛けに、寄贈をさせて頂いています。

みんな
みんな
ともだち
からみ



〒521-1222 滋賀県神崎郡能登川町佐野885 止揚学園

全国化学労働組合総連合御中
 貴総連の皆様の優しい心と温かい愛の一杯にこそた
 寄付金をあつたいただき、私達は感謝と喜びです。又、
 (こんな時でも希望を届前、明け方傷にを失くさなり、知能
 に重い障害を持つ仲間たちと心を命を共に治す治すて学
 び、この仲間たちの人権を守りつ、この仲間たちを差別する
 ものとしたらどうしよう)と心を燃然せせつています。
 ありがとうごさいます。
 さて止揚学園では予防注射をしましたのに、多くの仲間が
 インフルエンザにかかり、高熱を出して寝ました。その看病
 び仲間の職員たちが6人づつ交代で2週間ほど、徹夜
 がつきました。皆 涙を流しました。
 このような時に貴総連の皆さまの温かい心をいただき
 私たちは大きな励みと力あしをうけとります。
 やつと全員が回復して、明るい笑顔が戻ってきました。
 ホッとしたります。
 今日は皆で外を歩きました。あつたに小さくの子が若葉が頭を
 出し、白紅梅が咲き、花のつぼみがはじけ、日たまりに小はな
 花がのびています。その春を待つ座に皆の笑顔が、ここから
 明るく光輝きました。その春に(自然の心はなかに優しく、笑
 いがある。やがて私達の心が明るくなるよなあ、この自然と
 人間の高小愛でこわしたあかんなあ、私達は謙虚になつて
 自然を大切にしよう)と心で思いました。
 全国化学労働組合総連合様に明るい光と春が
 包みまわすことを念じて、お礼にさせていただきます
 いただき、
 かんけいよきごにやすつ 福井達雨

止揚学園からの御礼状

組合役員に期待するものは!

意見交換を通じ理解を深めた研修会

第24回 支部役員研修会開催

2004年1月23日～24日にかけて、第24回支部役員研修会が支部役員98名、運営役員18名、総勢116名参加し「熱海 ニューフジヤホテル」にて開催されました。

日本ゼオン労組高村中央書記長の総合司会による2日間の行程は、組合役員の役割の再認識や化学総連の産業・業種活動に関する必要性とその理解、各々のテーマ別に分かれて意見交換を行った分科会等、普段接する機会の少ない課題や人々と出会う中で、今後の組合活動の大きな財産になったことと思われまます。

以下に、その内容を簡単に紹介いたします。

基調講演 化学総連を取り巻く環境、課題と組合役員に期待するもの

福永会長

講演の中では、マクロ的な経済環境や化学産業の現状を踏まえて、化学総連として、今何を活動するのか、そしてその課題は何なのかと言うお話がありました。また、今年度春闘の特徴紹介では、連合の動向、化学総連の考え（方針から取り組みの考え方への転換の趣旨）を述べられました。

最後に、魅力ある組合活動にするためには、活動の工夫や評価を常に行い改善を心がけること。そして組合活動のリーダーである執行委員は心構えをしっかりと持つことを強調されました。

リーダーの心構え

- ・何をどのようにしたいのか
- ・必要な材料は何か
- ・いつ実現するのか

研修会資料より抜粋



基調講演をされる
福永会長

特別講演 化学総連の産業・業種別活動の現状と課題について

富田会長代理

産業・業種別活動については、活動内容や必要性が見えにくいと言う声が聞かれる中、今回の特別講演においては、化学総連（産業別労働組合）の役割は？と言う基本的な部分からの講演を頂きました。

その産別の役割としては大きく分けると3つあり、労働条件向上の取り組みなどと共に1つの柱として産業・業種対策活動が挙げられます。

そして、その活動の必要性を説明された後、活動を実現するためにより大きな組織（人員・力）を求めてJEC連合との連携を行っている旨の話がありました。

具体的な活動内容については、第26回定期大会議案書別冊である「産業業種対策活動報告」を用いて、直面する課題（化審法改正、地球温暖化対策税等）への対応実績や、今後の活動課題（業種別委員会再編の必要性、各種法規制への対応）を紹介しました。

最後に産業・業種対策活動における支部役員の役割と責任として、

1. まず自らが関心を持つ（環境問題、各法的規制や規制緩和、コンプライアンス等）
2. 声をあげる、実践する（職場での問題点のCHECKと指摘、本部・会社への問題提起等）
3. 自らの職場を、事業場を、企業を、化学産業を守っていく

気持ちを念頭に置いて活動をしてもらいたい。そして「産業・業種対策活動は雇用対策」であることを強調されました。

産別としての産業・業種対策の必要性

～広く化学産業に関わる課題や問題への対応の必要性～

- ・ 法的規制の緩和等による事業活動のメリット
- ・ 環境問題への対応の必要性
- ・ 企業・グループ内での雇用の安定と確保
- ・ 化学関連産業の健全な発展と地位の向上
- ・ 魅力ある産業の育成と優秀な人材の確保

→単組だけでは解決出来ない課題への対応
規模のメリットを最大限活用

研修会資料より抜粋



産業対策の必要性について語る
富田会長代理

記念講演 人が生きる・組織が活きる

コラムニスト 金平敬之助氏

2日間の最後には、金平敬之助氏による記念講演を実施しました。しぐさや言葉から学ぶリーダーであるための心がけとは？という内容を、ご自身の体験、世間で話題になっている事柄やその裏話などを交えて話されました。参加者の皆さんからは、「自分の思うことを相手に伝えるためには先ず相手のことを思いやり理解をしなければいけない」「リーダーとしての心構えを勉強できた」等の感想がありとても有意義な講演でした。



テンポの良い講演の金平氏

第24回支部役員研修会プログラム

基調講演 福永会長

「化学総連を取り巻く環境、課題と組合役員に期待するもの」

分科会（全12班編成）

共通テーマ 「産業・業種別活動について」

個別テーマ

- A 「魅力ある組合情報紙、討議資料にするには」
- B 「組合に求められるニーズとその具現化について」
- C 「組合員、職場委員への教育のあり方について」
- D 「組合に必要なリーダーのあり方とリーダーシップの発揮について」
- E 「安全、衛生、環境活動に対する組合の役割と課題について」
- F 「集会、レク行事などの参加率向上のための企画、工夫について」

特別講演 富田会長代理

「化学総連の産業・業種別活動の現状と課題について」

記念講演 コラムニスト 金平敬之助氏

「人が生きる・組織が活きる」

最後に全国各地からご参加頂いた支部役員の皆さん、そして運営にご協力頂いた役員の方々に紙面を借りてお礼申し上げます。



総司会の高村中央書記長
（日本ゼオン労組）

抜本改革なき負担増・給付削減を撤回させよう!

連合では2004年金改革案に対し、上記スローガンの下、さまざまな運動を展開する予定です。

化学総連としても加盟団体である連合のこのような取り組みに対しては、その連合の役割機能を考え協力をしていくことを確認しております。加盟単組組合員の皆さまにおいても、このような活動を行っていることに対して認識をされると同時にご理解をお願い致します。

現状

進む一方の「空洞化」と制度不信 しわ寄せは勤労者の負担増に

政府が行ってきた負担増と給付削減のくり返し。不信感の増大と保険料未払い者の増加だけが進み、勤労者の一層の負担増と給付削減という悪循環に!

年金下がっている国民年金の納付率

1997	79.8
1999	74.5
2001	70.9
2002	62.8

本当にもらえる?

政府案

抜本改革はすべて先送り またも負担増と給付削減のみ

今回の政府案は、保険料を毎年引き上げ(18.30%まで)、年金給付は引き下げという内容(所得代替率50.2%)に。空洞化対策などの抜本改革は、すべて先送りです!この試算どおりにいく保障もなく、これでは安心の老後は迎えられません。

13.58% 現役手取り年収40.1万円

18.30%に固定(2017年~) 厚生年金保険料

23.8万円 59% ※

20.1万円 50% ※

給付水準(※現役の手取り年収に対する比率)

給付はもっと下がるかも?

空洞化対策は?

■ 安心と信頼の連合年金改革案

基礎年金の「税方式化」で 空洞化を解消 現行の給付水準を 基本的に維持

基礎年金を税方式(全額国庫負担)とすることで空洞化は解消。財源が安定することで制度に対する安心と信頼も回復し、現行の給付水準を基本的に維持することが可能になります。

厚生年金保険料	14.6%	報酬比例年金	10.3万円(平均)
全額国庫負担	社会保障税(現行の事業主負担分) 1/6 年金目的税(消費税率約3%) 1/3 現行の税で対応 1/2	基礎年金	夫 7万円 妻 7万円

(2025年の姿)

※40年間平均的な賃金を支払われた場合(男性)

現行水準(現役手取り年収の約6割)を維持

働き方がちがっても安心な年金にパート労働者や失業者への厚生年金拡大も求めています

これで保険料未払い問題や専業主婦の問題も解消

化学総連今後の主なスケジュール

- 4月 15日(木) 連合中央執行委員会
- 21日(水) 政策委員会
- 29日(木) 連合メーデー中央集会
- 5月 13日(木) 連合中央執行委員会
- 18日(火)~19日(水) 政策委員会・幹事会
- 19日(水) JEC連合政策シンポジウム
- 24日(月)~25日(火) JEC連合化学部会
- 6月 2日(水) 総合企画委員会
- 4日(金) 政策委員会・地連代表幹事会

- 6日(日)~7日(月) JEC連合中央執行委員会
- 8日(火)~9日(水) 連合政策・制度中央討論集会
- 11日(金)~12日(土) ヤングネット
- 17日(木) 連合中央執行委員会
- 18日(金) 政策委員会・幹事会
- 21日(月)~30日(水) 海外労働事情調査団派遣
- 25日(金) 連合中央委員会